

環境アセスメント学会

# 2021 年度 第 20 回大会プログラム

The 20th Annual Conference Program in 2021

The Japan Society for Impact Assessment



2021 年 9 月 3 日 (金)、9 月 4 日 (土)

3-4 September, 2021

## 2021年度環境アセスメント学会第20回大会

主催：環境アセスメント学会

後援：名古屋大学未来材料・システム研究所

### 環境アセスメント学会第20回大会実行委員会

林 希一郎	名古屋大学	大会実行委員長
森下 英治	愛知学院大学	副実行委員長（会計担当）
増沢 陽子	名古屋大学	
赤淵 芳宏	名古屋大学	
浦郷 昭子	(有)レイヴン	

## 2021年度環境アセスメント学会第20回大会開催について

2021年度環境アセスメント学会第20回大会は、名古屋大学東山キャンパスで開催する旨をこれまで学会誌や学会ホームページでご案内してきたところですが、新型コロナウイルスの感染対策の一環として、会場校の名古屋大学において、キャンパス施設の学外貸し出しが困難となっている状況です。

そのため、同大学での開催が困難となりましたので、オンライン方式での開催に切り替えることを決定いたしました。

参加を予定されていた皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご了解のほどお願い申し上げますとともに、ふるってご参加下さいますようにあらためてお願い申し上げます。

また、技術展示、エクスカージョン、懇親会についても中止とさせていただきますので、あわせてご了解下さい。

環境アセスメント学会第20回大会実行委員長 林 希一郎  
(学会理事 名古屋大学)

### 【参加申込等に係る注意事項】

- ・大会に参加される方は、原則として、事前の大会参加申込と参加費振込が必要となります。
- ・学会ホームページに掲載の方法で参加申込及び参加費振込をお願いします。大会の参加申込の締切は8月25日(水)です。
- ・オンライン参加に必要なID等及び要旨集ダウンロードの情報は、事前申し込みをいただいた方にお送りします。
- ・なお、開会式及びシンポジウム「ビッグデータと環境アセスメント」は一般公開としますので、参加申込のみで参加いただけます。この場合、配布資料は発行いたしません。

お問い合わせ：環境アセスメント学会第20回大会実行委員会事務局  
E-mail : jsia2021nagoyau@gmail.com

**大会スケジュール・プログラム概要** 日程 2021年9月3日(金)、4日(土) 方式 WEB方式

大会1日目(9月3日、金曜日)

午前	09:00-10:00 (Web方式: Zoom第1会場) 一般研究発表 セッション1 「国際」 3件	09:00-10:00 (Web方式: Zoom第2会場) 一般研究発表 セッション2 「自然環境①」 3件
	10:00-10:10 準備	
	10:10-11:10 (Web方式: Zoom第1会場) 一般研究発表 セッション3 「住民参加・その他」 3件	10:10-11:10 (Web方式: Zoom第2会場) 一般研究発表 セッション4 「自然環境②」 3件
	11:10-11:20 準備	
	11:20-11:50 奨励賞受賞記念講演 (Web方式: Zoom第2会場) 実務部門受賞者 石塚隆記(イー・アンド・イー・ソリューションズ(株)) 「資源循環と環境アセスメントの実務」	
	11:50-12:30 休憩	
午後	12:30-14:00 ポスターセッション (Web方式: Zoom第2会場)	
	14:00-14:15 休憩	
	14:15-14:25 開会式 (Web方式: Zoomウェビナー) 開会挨拶 藤田八暉(学会会長/久留米大学)	
	14:30-17:00 大会実行委員会・学会企画委員会共催シンポジウム(Web方式: Zoomウェビナー) テーマ「ビッグデータと環境アセスメント」 ・座長: 林希一郎(学会理事/名古屋大学)	
	<p>(1) 講演 【14:35~16:25】(110分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Artificial intelligence for a sustainable planet: the ARIES platform」 Ferdinando Villa教授(BC3、Spain): 英語 日本語概説 林希一郎教授(名古屋大学)</li> <li>・「デジタルアース: SDGsとグリーン変革のためのプラットフォーム」 福井弘道教授(中部大学国際GISセンター)</li> <li>・「環境アセスメントデータベース「EADAS」と今後の展望」 會田義明課長補佐(環境省大臣官房環境影響評価課)</li> <li>・「環境アセスメントとビッグデータ活用技術」 島田克也常務取締役(いであ株式会社)</li> </ul> <p>～休憩5分～ 【16:25~16:30】</p> <p>(2) 総合討議 【16:30~17:00】 30分 コーディネーター 林希一郎(学会理事/名古屋大学) 登壇者: 上記講演者4名</p> <p>(3) 閉会挨拶 森下英治教授(愛知学院大学)</p>	

**【シンポジウム聴講者の方へ注意事項】**

- ・大会実行委員会よりメールで送付されたURLと参加者IDを用いて、名前を「ID+氏名(例: 906 亜瀬須太郎) ※必ず参加登録された本名のフルネームを使ってください。ニックネームでの参加は拒否されます。」としてZoomウェビナーに入室してください。
- ・質疑応答において、ご意見・ご質問がある方は、「Q&A」のボタンを押して記入ください。最初に所属と氏名ご記入いただき、その後、ご意見・ご質問を記入してください。係員が代読させていただきます。
- ・時間の関係上すべてのご意見・ご質問を紹介できないこともあります。

大会 2 日目 (9月4日、土曜日)

午前	09:00-10:20 (Web方式：Zoom第1会場) 特別集会：セッション5 「AIを用いたwebGISのエネルギー・環境評価システムの開発」 3件	09:00-10:20 (Web方式：Zoom第2会場) 一般研究発表 セッション6 「自然環境③」 4件
	10:20-10:30 準備	
	10:30-11:50 (Web方式：Zoom第1会場) 一般研究発表 セッション7 「気候変動・SDGs・他」 4件	10:30-12:10 (Web方式：Zoom第2会場) 一般研究発表 セッション8 「再生可能エネルギー」 5件
	12:15-12:25 ポスター賞表彰 12:30 閉会	(Web方式：Zoom第2会場)

【特別集会・一般研究発表の聴講者の方へ注意事項】

- ・大会実行委員会よりメールで送付されたURLと参加者IDを用いて、名前を「ID+氏名（例：906垂瀬須太郎）※必ず参加登録された本名のフルネームを使ってください。ニックネームでの参加は拒否されます。」としてZoomミーティングに入室してください。
- ・入室に当たっては時間に余裕を持ってください。実行委員会で確認できるまで待機室でお待ちください。
- ・Zoomミーティングに入る際には、講演者の邪魔にならないよう、マイクのミュート並びにカメラを停止してください。
- ・発表や質疑応答の妨げにならないようにしてください。座長(ホスト)が強制的にミュートやビデオの停止を行うことがあります。
- ・質疑応答において、ご意見・ご質問がある方は、「反応」の「挙手」ボタンを押してください。座長(ホスト)から指名されたら、ビデオをオンにし、マイクのミュートを外してお話してください。最初に所属と氏名を名乗ってください。時間の関係上すべてのご意見・ご質問を紹介できないこともあります。
- ・講演を録音・録画しないでください。「レコーディング」ボタンがありますが、許可されません。

**【プログラム詳細】**

一般研究発表プログラム（注：肩書きは報告者のみ、発表時間＋質疑は各20分）

大会1日目【9月3日（金）】 奇数セッションはZoom第1会場、偶数セッションはZoom第2会場

セッション1「国際」 座長：石野耕也（学会理事） （座長補佐：尾原正敬）

1	09:00-09:20	「学校教育の場を通じたインフラ整備・復興支援事業に関する環境ガバナンス強化・支援の在り方について」 ○林田貴範（㈱国際開発センター）
2	09:20-09:40	「世界遺産条約における遺産影響評価（HIA）の実施現状」 ○袁星雅（筑波大学大学院）、吉田正人
3	09:40-10:00	「米国におけるIn-lieu Feeプログラムのクレジット料金に関する研究」 ○城木毅（東京都市大学大学院）、芦朋也、田中章

セッション2「自然環境①」 座長：浦郷昭子（学会理事） （座長補佐：東郷有城）

1	09:00-09:20	「渋谷川と古川における水質モニタリングと水質改善の検討」 ○咸泳植（東京都市大学）、小林嵩伸、浜村拓海、赤坂航平、入江光
2	09:20-09:40	「水質評価指標を用いた都市域における地下水汚染の特徴」 ○咸泳植（東京都市大学）、北尾健士郎、尾地拓海
3	09:40-10:00	「ビッグデータに基づいた戦略的環境アセスメントと生物多様性オフセットの実装」 ○久保田康裕（琉球大学）

セッション3「住民参加・その他」 座長：大塚直（学会理事） （座長補佐：柳川立樹）

1	10:10-10:30	「山梨県におけるリニア中央新幹線の環境影響評価に対する住民の意識分析」 ○伊東英幸（日本大学）、菊地隆夫、藤井敬宏
2	10:30-10:50	「市民からの持続可能性アセスメント ～水島再生プランの自主アセスの取組から～」 ○傘木宏夫（NPO地域づくり工房）、藤原園子、塩飽敏史
3	10:50-11:10	「環境影響評価法の施行状況について」 ○豊村紳一郎（環境省）、森田 紗世、會田義明

セッション4「自然環境②」 座長：佐藤律子（学会理事） （座長補佐：竹内彩乃）

1	10:10-10:30	「代償措置としてのビオトープ及び多自然型護岸の整備とその効果の検証」 ○大谷正太（㈱エイト日本技術開発）、根本勝、大島誉史、三原義朗、神尾宏
2	10:30-10:50	「衛生写真によるAIを用いたサンゴの生息範囲の推定の研究」 ○ヌツラマン アンドリーアント（㈱東京久栄）、小堀隆憲、矢代幸太郎
3	10:50-11:10	「東京都丸の内のシマトネリコの生育状況」 ○小松裕幸（清水建設㈱）、伴武彦、松榮宏幸、北野雅人

大会2日目【9月4日（土）】 奇数セッションはZoom第1会場、偶数セッションはZoom第2会場

セッション5 特別集会「AIを用いたwebGISのエネルギー・環境評価システムの開発」

コーディネーター：林希一郎（学会理事） （座長補佐：伊東英幸）

1	09:00-09:20	「AIを用いたwebGISのエネルギー・環境評価システムの開発」 ○林希一郎（学会理事／名古屋大学）、Ferdinando Villa、Stefano Balbi
2	09:20-09:40	「K.LABを活用した水文モデルと作物成長モデルの利用」 ○岡澤宏（東京農業大学）、張可、山崎由理、林希一郎、Ferdinando Villa、Stefano Balbi
3	09:40-10:00	「小水力発電グローバルモデル開発」 ○山崎由理（東京農業大学）、林希一郎、岡澤宏、Ferdinando Villa、Stefano Balbi
4	10:00-10:20	「総合討議」 発表者＋コーディネーター

セッション6 「自然環境③」

座長：上杉哲郎（学会常務理事） （座長補佐：田中亨）

1	09:00-09:20	「東アジア地域の環境アセスメントにおける生物多様性オフセット制度の最新動向に関する研究」 ○陳純（東京都市大学大学院）、阿部旭秀、井上結貴、田中章
2	09:20-09:40	「流域に着目した自然環境環境アセスメントの在り方に関する研究」 ○川村昂史（東京都市大学大学院）、田中章
3	09:40-10:00	「日本の自然環境保全に関する助成金制度」 ○浅見友里（東京都市大学大学院）、田中章
4	10:00-10:20	「里山保全活動に対する定量評価手法のあり方に関する研究」 ○後藤圭輔（東京都市大学大学院）、田中章

セッション7 「気候変動・SDGs・他」 座長：真田純子（学会理事）

（座長補佐：長岡篤）

1	10:30-10:50	「気候変動を考慮した環境影響評価に係る課題の抽出」 ○小野寺遼（国際航業株）、田中充、小河誠、児玉元純、前川統一郎、中前忠之、外山治美、石川みくり、原綾音
2	10:50-11:10	「自然エネルギー100%大学とSDGs」 ○原科幸彦（千葉商科大学）
3	11:10-11:30	「新型コロナウイルス感染拡大下における北海道の大気環境について」 ○佐藤圭一（株ドーコン）
4	11:30-11:50	「水中音響記録装置（A-tag）による調査データからの機械学習を用いた鯨類ソナー音の検出手法」 ○斎藤睦巳（富士通九州ネットワークテクノロジーズ株）、市橋理、會田義明、赤松友成

1	10:30-10:50	「北九州市における洋上風力発電と環境影響評価」 ○北尾多貴男（北九州市）
2	10:50-11:10	「脱炭素社会への取組加速化に向けた地熱発電所の環境アセスメントの役割」 ○岡田真秀（東北緑化環境保全(株)）、青木一樹
3	11:10-11:30	「太陽光発電施設の立地状況と景観計画との整合性」 ○中島健留（東京農業大学大学院）、荒井歩
4	11:30-11:50	「再エネ事業終了後等の土地利用変化に係る環境影響評価技術適用の具体化に係る検討」 ○尾原正敬（(一社)日本環境アセスメント協会／(株)千代田コンサルタント）、安藤伸彦、小野寺一剛、中田俊宏、森本尚弘
5	11:50-12:10	「風力発電所の規模要件の見直しについて」 ○森田紗世（環境省）、會田義明、柳田邦玲雄

### ポスターセッション（注：肩書きは主報告者のみ）

【9月3日（金）12:30-14:00】

※「若手部門」は優秀ポスター賞の候補となります。

1	「気温負荷（ミラー温度）と熱量消費」 ○平手彰（江戸川大学）	一般
2	「関東地域一円における室内塵の化学成分分析」 ○咸泳植（東京都市大学）、早川琢朗、大沢晃	一般
3	「関東地域一円における水道水の理化学性に関する研究」 ○咸泳植（東京都市大学）、早川琢朗、大沢晃	一般
4	「横浜市環境配慮指針を改定し、脱炭素化やグリーンインフラ等を導入」 ○川上智昭（横浜市）、奥山 勝秀、倉林 輝世、荒原 一美、片山 昌子、竹入 瑤子	一般
5	「環境アセスメントにおけるSDGsの活用」 ○岩沢進（(一社)日本環境アセスメント協会／(株)千代田コンサルタント）、酒井剛、田中亨、名倉理紗、山岸丈二、齋木美悠、宮田洋実、長田篤佳、佐々木孝太郎、下條肇、佐藤高広、皆川克志、濱田敏宏	一般
6	「再エネ海域利用法は戦略的環境アセスメントとして機能するか？」 ○水野羽奏（東邦大学）、山本倫輝、竹内彩乃	若手
7	「グリーンボンド市場におけるインパクトレポートの現状と課題」 ○Chu Tianru（東京工業大学）、錦澤滋雄、村山武彦、長岡篤	若手
8	「森林空間体積に着目した簡易型炭素ストック量推計手法の開発-名古屋市の事例」 ○早川昂汰（名古屋大学大学院）、林希一郎、竹島喜芳、町村尚、杉田暁	若手
9	「つくば市の太陽光発電施設の立地特性分析」 ○前川陽平（東京工業大学）、前川陽平、長岡篤、錦澤滋雄、村山武彦	若手
10	「海域生物モニタリングへの Deep Learning 技術の適用」 ○上岡洋平（日本ミクニヤ(株)）、田邊勝、伊藤幸平、小野田寛	若手



# 環境アセスメント学会主催シンポジウム 「ビッグデータと環境アセスメント」

## ■企画趣旨

各種分野でのビッグデータの活用が進んでいる。リアルタイムの人の流れの分析やグローバルスケールでの膨大な情報の分析や予測の活用が急速に進んでいる。これらのデータや技術は、公開情報として利用可能な状態で提供されているものも多く、今後の各種評価の基礎データとして活用されていくことが期待される。本公開シンポジウムは、空間情報等のビッグデータを活用した最先端の取り組み事例を各専門家から紹介いただき、ビッグデータの環境アセスメント分野での活用可能性について議論を行う。

## ■日 時

2021年9月3日（金）14:30～17:00

## ■方 式

Web方式（Zoom ウェビナー） ※事前登録が必要です

## ■進 行

座長：林希一郎（学会理事／名古屋大学）

### （1）講演 【14:35～16:25】（110分）

- ・「Artificial intelligence for a sustainable planet: the ARIES platform」  
Ferdinando Villa 教授(BC3、 Spain)：英語  
日本語概説 林希一郎教授（名古屋大学）
- ・「デジタルアース：SDGs とグリーン変革のためのプラットフォーム」  
福井弘道教授（中部大学国際 GIS センター）
- ・「環境アセスメントデータベース「EADAS」と今後の展望」  
會田義明課長補佐（環境省大臣官房環境影響評価課）
- ・「環境アセスメントとビッグデータ活用技術」  
島田克也常務取締役（いであ株式会社）

～休憩 5分～ 【16:25～16:30】

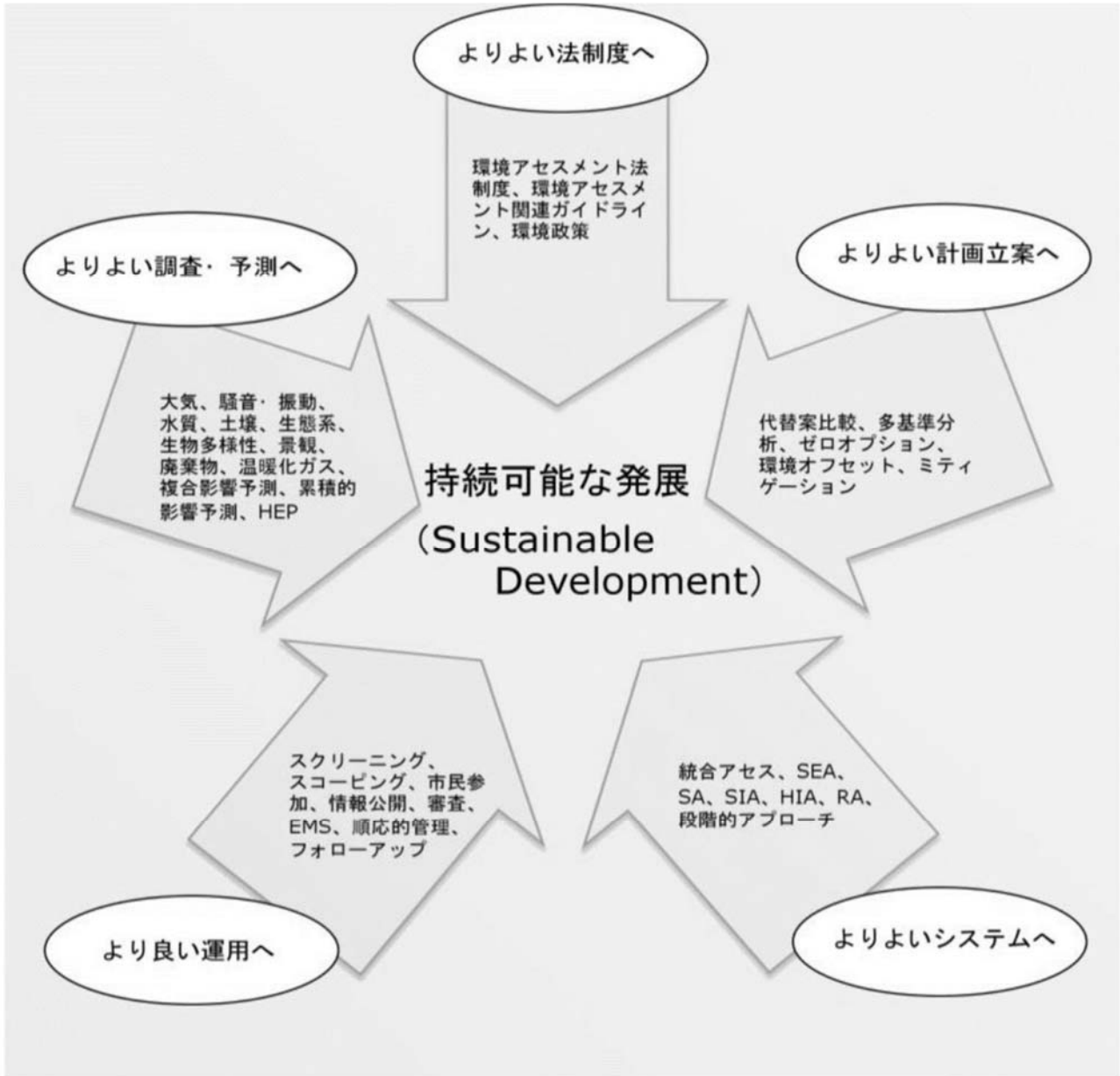
### （2）総合討議 【16:30～17:00】 30分

コーディネーター 林希一郎（学会理事／名古屋大学）  
登壇者：上記講演者 4名

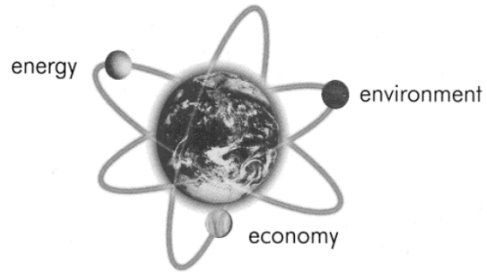
### （3）閉会挨拶

森下英治教授（愛知学院大学）

参考：環境アセスメント学会が求めるもの



# JANUS



持続可能な未来のために――

- 環境技術コンサルティング
- エネルギー技術コンサルティング
- システム工学技術コンサルティング
- エネルギー／環境経済コンサルティング

## 日本エヌ・ユー・エス株式会社

本 社 〒106-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25

Tel 03-5925-6710 (大代表) Fax 03-5925-6715 (大代表)

<http://www.janus.co.jp/>

事業所等 横浜オフィス (横浜市) 青森 (六ヶ所村)

福島 (福島市) 新潟 (刈羽村) 名古屋 (名古屋市)

福島浜通り (いわき市) 沖縄 (那覇市)

JNK Environmental Research & Consulting Co., Ltd. (ベトナム)

自然を識り、豊かな未来につなぐ



## 株式会社東京久栄

### TOKYO KYUEI CO., LTD.

- ✓ 環境コンサルタント
- ✓ 海洋エンジニアリング
- ✓ 水中メンテナンス
- ✓ 新領域 (再エネ、地域振興)

〔本 社〕 東京都千代田区岩本町 2-4-2

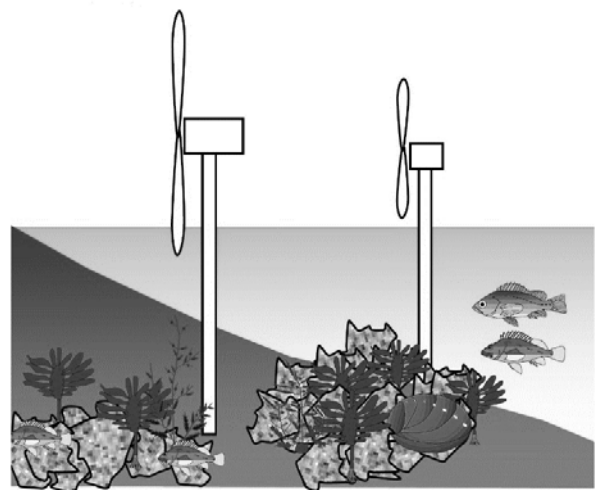
江戸新金網ビル 4F, 7F

〔技術センター〕 埼玉県川口市芝 6906-10

〔支店/営業所〕 九州/ 千葉、磯部、

四国、広島、沖縄、

ジャカルタ



【藻場造成による漁業振興イメージ】

# 未来を切り拓く環境アセスメント

## 2021 年度主要施策

- 再生可能エネルギー分野に関する環境影響評価の進展への貢献
- 新型コロナや大規模自然災害等の自然的・社会的リスクの時代に  
適応した活動の推進
- 支部活動の活性化
- 海外交流によるアジア等地域の持続的発展への貢献
- 「環境アセスメント士」の活躍の場の拡大

## 「環境アセスメント士」 認定資格試験

「環境アセスメント士」認定資格制度は、環境アセスメントに専門特化した資格制度であり、(一社)日本環境アセスメント協会が環境アセスメント実務者の専門的な技術・技能を認定するものです。本資格制度による「環境アセスメント士」有資格者数は、現時点で総勢約 605 名に達しました。

2021 年度の認定資格試験は、11 月 23 日(火・祝)に実施します。

### <2021 年度 認定資格試験の概要>

【資格部門】: 「生活環境部門」並びに「自然環境部門」

【受験資格】: 四年制大学卒; 実務経験 5 年以上、大学院卒; 3 年以上、左記以外; 8 年以上

【試験科目】: 3 科目(業務経験、専門知識・共通基礎、管理技術等)

【試験日時】: 2021 年 11 月 23 日(火・祝)

【試験場所】: 札幌、東京、大阪、福岡

(問合せ先) 資格・教育センター

TEL: 03-3221-6731 FAX: 03-3221-6732 E-mail: [a-qec@jeas.org](mailto:a-qec@jeas.org)

## (一社) 日本環境アセスメント協会 (JEAS)

〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 US 半蔵門ビル 7F

TEL: 03-3230-3583 FAX: 03-3230-3876 E-mail: [jeas@jeas.org](mailto:jeas@jeas.org)



詳しい協会活動の内容、入会申込み等は、ホームページ

(URL: <https://www.jeas.org>)をご覧ください。